

コンビ ジュニアシート ジョイトリップ アドバンス シリーズ

取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本書は座面カバー下の取扱説明書収納部に保管してください。
- 43ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。



お使い
いただく
前に

使いかた

お手入れ・
その他

本製品は、UN R129/03において認可されたi-Size プースターシートです。

- ISOFIX型ジュニアシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX取付金具（バー）を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書でISOFIXサイズクラスに適合しているか確認してください。

- UN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。

お子さまの条件

身長：100cm～150cmまで



危険

お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。
身長 100cm～150cmまで



注意

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。

もくじ

お使いいただく前に

| | |
|--------------------|----|
| お使いいただく前に | 2 |
| 各部のなまえ | 3 |
| ご使用の条件 | 5 |
| 取り付けできる座席 | 6 |
| 車両シートベルトの種類と使用上の注意 | 7 |
| 取り付けできない座席 | 8 |
| 安全にお使いいただくために | 10 |
| 組み立て | 17 |

使いかた

| | |
|-----------------|----|
| 取り付け準備 | 20 |
| 車への取り付けかた | 22 |
| 取り付け完了チェックのしかた | 29 |
| 車からの取りはずしかた | 31 |
| ヘッドガード位置の調節のしかた | 32 |
| お子さまの座らせかた | 33 |
| クッションベルトの使いかた | 36 |

お手入れ・その他

| | |
|--------------------|-----|
| カバーの取りはずしかた・取り付けかた | 37 |
| お手入れのしかた | 41 |
| 保管・廃棄のしかた | 42 |
| 品質保証書 | 43 |
| 問い合わせ先 | 裏表紙 |

お使いいただく前に

このたびは、コンビ ジュニアシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。





〈中古品のご使用について〉

- 使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

ジュニアシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、ジュニアシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

| 表示 | 表示の内容 |
|---|---|
|  危険 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。 |
|  警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
|  注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。 |
|  ワンポイント | ジュニアシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。 |

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

- ご使用前に、43ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。
 - ① 製品名とロットNo. (ヘッドガード裏側に貼ってあるシールに記載されています)
 - ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③ 販売店名
- レシート(領収書)を本書といっしょに保管してください。

正面



※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

梱包内容

●本体



●クッションベルト



●ISOFIX キャップ



●取扱説明書（本書）

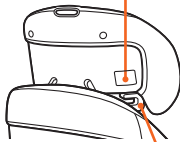


●お客様登録カード



背面

ヘッドガード背面
ロット No.

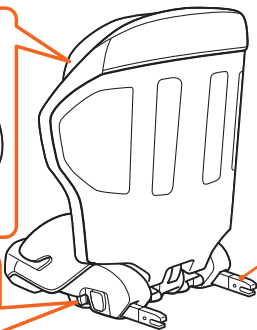


肩部ベルトガイド

コネクター解除ボタン



コネクター調節レバー




ISOFIX コネクター

※製品により仕様が異なる場合があります。
また製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

ご使用の条件

お子さまの身長に合わせて以下のモードで使用します。

| | | |
|--------------------------|---|--|
| 使用状態 |  | |
| 条件 | 身長100cm～150cmまで | |
| お子さまの拘束方法 | 車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。 | |
| ジュニアシート の車両への固定 方法 | A | B |
| | ISOFIXコネクターとお子 さまを拘束している車両 シートベルトで車両座席に 固定します。 | お子さまを拘束してる車両 シートベルトを使用して車 両座席に固定します。 |



危険

お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。
身長100cm～150cmまで

取り付けできる座席

ISOFIX 型ジュニアシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX 取付金具 (バー) を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記の ISOFIX サイズクラスに適合しているか確認してください。

車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

www.combi.co.jp/childseat/seat_search/

本製品の ISOFIX サイズクラス

コンビ 適合

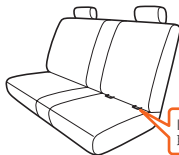
検索



| お子さまの身長 | 固定具 |
|---------------|-----|
| 100cm ~ 150cm | B2 |

ISOFIX 取付金具について

ISOFIX 取付金具とは、ISOFIX ジュニアシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座面の間に装備された金具 (バー) です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。



ISOFIX
取付金具

車両シートベルトの種類と使用上の注意

ジュニアシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

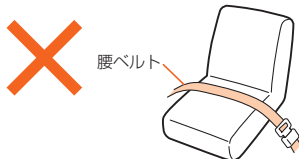


危険

- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

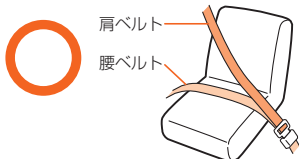
2点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



| シートベルトの種類と特徴(見分けかた) | | 取り付け注意点 |
|---------------------|--|---|
| ELR | ゆっくり引くと自由に入出しし、勢いよく引くとロックする。 | ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けください。 |
| AELR | シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとジュニアシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される) | シートベルトを全て引き出すと危険です。 シートベルトを1度戻して、ジュニアシート固定機能を解除してから取り付けください。 |
| その他 | 上記に当てはまらないシートベルト。 | 使用できません。 |

※ シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

下記以外の座席でも、ジュニアシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

※ 助手席への取り付けはエアバッグの有無に関わらずおすすめできませんので、車種適合調査は行っていません。

● エアバッグ装備の座席。

… サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



● 進行方向に対して横向き、または後向き座席。



● 極端なバケットシート。

… 座面の中央が深くへこんでいる座席。



● 座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



● 車両ヘッドレストが極端に出っぱっている座席

… 車両ヘッドレストの形状により、リクライニング操作やジュニアシートのヘッドレスト調節操作ができない座席。

※ 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずすことで操作が可能になれば、その座席でも取り付けできます。



取り付けできない座席

お使いいただく前に

- 車両シートベルトの付いていない座席。



- 2点式シートベルトの座席。



- 車両シートベルトの長さが**極端に短い**座席。



- **パッシブシートベルトの付いた座席。**

※パッシブシートベルトとは
… 車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



- 車両シートベルトが**座席の中間から出ている**座席。

…ジュニアシートの腰部ベルトガイドの位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。



- お子さまがジュニアシートの上で立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。



- エアバッグ装備の座席では、ジュニアシートを使用しないでください。

衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

… サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



安全にお使いいただくために

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



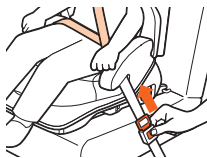
- お子さまを座らせたとき、車両シートベルトの差込金具が車両バックルに正しく差し込まれており、はずれないことを確認してください。



お使いいただく前に

⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたが車両シートベルトをはずしてすみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、ジュニアシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しが強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因になります。必ず保護者のかたが同乗してください。

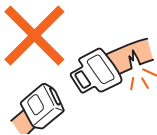


- お子さまが座っていないときでも、ISOFIXコネクターおよび車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



安全にお使いいただくために

- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。



- チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を動かさないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。



⚠️ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。

- ジュニアシートを車両のシート可動部 やドアにはさまないように、十分注意してください。

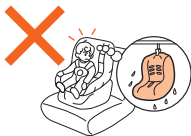


- 直射日光があたると、本体やシートベルトの差し込み金具などが熱くなり、ヤケドをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 座席の表皮素材（革など）や形状によっては、座席に傷や跡がつくおそれがあります。

- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材は、ずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）



- 背もたれと座面の接合部に指などをはさまないように注意してください。



- お子さまを乗せた状態で、取り付け・取りはずし・持ち運びはしないでください。

安全にお使いいただくために

お使いいただく前に

- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。



- ジュニアシートを通常の椅子として使用すると、転倒してケガの原因となります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。



- 車両座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、ジュニアシートを取り付けしないでください。ジュニアシートがしっかり固定されません。



- 走行中は、ジュニアシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがジュニアシートに触らないようにしてください。
- ジュニアシートを風雨にさらさないでください。
- ジュニアシートの操作や調節をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。

⚠ 日常の点検

ジュニアシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

※ 5ページおよび22ページ車両の固定方法Aで取り付ける場合。



コネクター調節レバーのインジケーターがロック状態(「赤色」の表示が見えなくなっている状態)になっていること

ISOFIXコネクターが車両のISOFIX取付金具にしっかり固定されていること

コネクター解除ボタンのインジケーターがロック状態(「緑色」の表示が見える状態)になっていること

ジュニアシートが**車両座席にしっかりと固定されていること**(ベースを前後左右にゆすり、確認してください)

組み立て

工場出荷時、本製品は背もたれと座面がはずれた状態になっています。

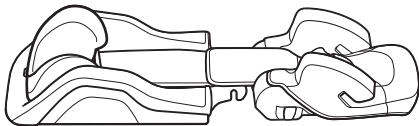
- 組み立てるときは、平らで柔らかい床の上で行ってください。製品の破損や床への傷つきを防ぎます。
- 組み立てるときは、周囲の人にも気をつけて指などはさまないように注意してください。
- 組み立てたジュニアシートを持ち運ぶ場合は、図のように持ち、**背もたれと座面の接合部に指をはさまないように**注意してください。
※組み立てたジュニアシートの背もたれと座面は動きません



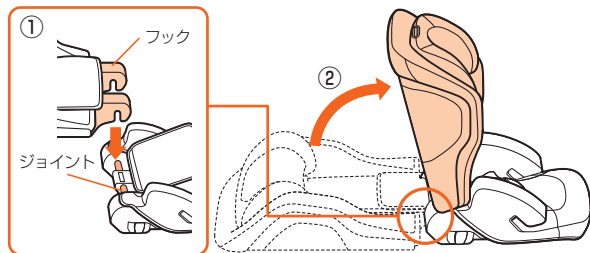
お使いいただく前に

背もたれの取り付け

- 1 背もたれと座面を平らで柔らかい床の上に置く。



- 2** ① 背もたれのフックを座面のジョイントに合わせ押し込む。
 ② 合わせた状態で、背もたれが座面に当たるまでゆっくり起こす。
 ※起こす時に、2回突起を乗り越えます。「背もたれの使用範囲」参照



お使いいただく前に



背もたれと座面は必ず取り付けてご使用ください。

背もたれの使用範囲

- ① 背もたれを水平に倒した状態から起こしていくと1つ目の突起部を乗り越えます。
 ② さらに起こすと2つ目の突起部を乗り越え、背もたれを自立させることができます。
 背もたれは、1つ目の突起を乗り越えたところから2つ目の突起を乗り越えたところの間で使用してください。



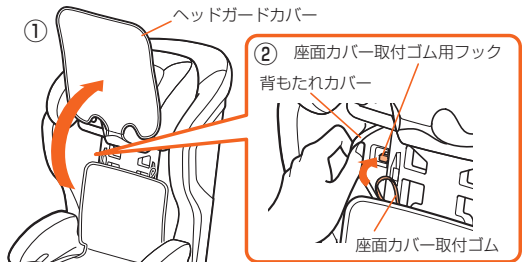
※取りはずしは、取り付けの逆の手順です。

組み立て

座面カバー取付ゴムの取り付け

ヘッドガードカバーをめくり上げ、さらに背もたれカバーをめくり、左右2カ所の座面カバー取付ゴムを座面カバー取付ゴム用フックに取り付ける。
(背もたれカバーをめくらないと取付ゴム用フックは見えません)

お使いいただく前に



※座面カバー取付ゴム用フックは、②のイラストのように背もたれカバーをめくったところにあります。(②のイラストは正面から見て左側となります)



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。
- フロントエアバッグ装備の座席では、ジュニアシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

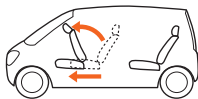
下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html

使
い
か
た

- 1** ① 取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。

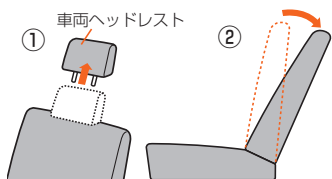


- ② 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。



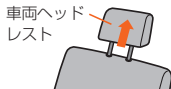
取り付け準備

- 2** ① 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。
※ 取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
② 車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。

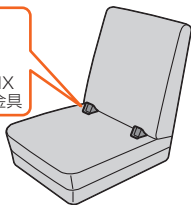


ワンポイント

- 車両ヘッドレストが取りはずせない場合は、1番上まで上げてください。



- 3** ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



ワンポイント

- ISOFIX取付金具が車両座席にかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキャップを使うことで、ジュニアシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両座席によっては取り付けるとジュニアシート背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



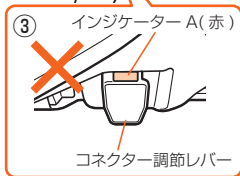
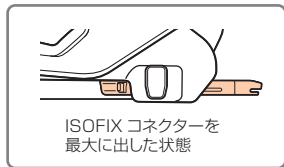
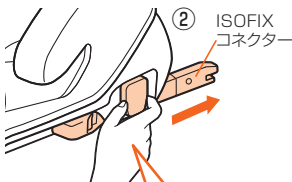
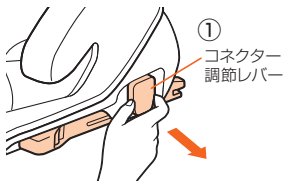
以下の2通りの取り付けかたができます。

| お子さまの身長 100cm ~ 150cm まで | | |
|--------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| お子さまの拘束方法 | 車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。 | |
| 車両への固定方法 | A | B |
| | ISOFIX コネクターと車両シートベルトで取り付けます。 | お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。 |

A での取り付け方

1 ISOFIX コネクターを引き出す。

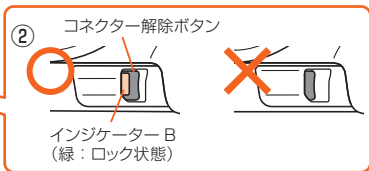
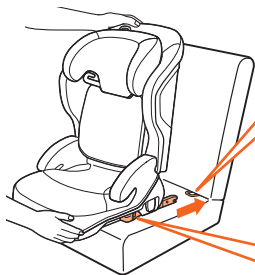
- ① 側面のコネクター調節レバーを引きながら、
 - ② ISOFIX コネクターを最大まで押し出す。
 - ③ コネクター調節レバーから手をはなし、インジケーター A がロック状態（「赤色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。
- ※ 左右それぞれ作業を行ってください。



車への取り付けかた

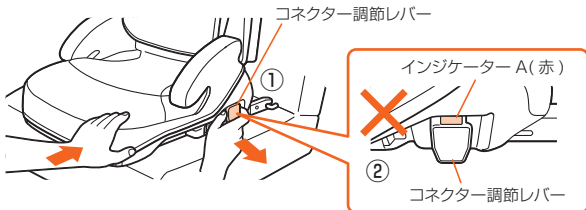
2 ISOFIX 取付金具に ISOFIX コネクターを取り付ける。

- ① 車両座席の左右 ISOFIX 取付金具に「カチッ」と音がするまで、それぞれ ISOFIX コネクターを差し込む。
- ② 左右のインジケーター B がロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。



3 ジュニアシートの背面が車両背もたれに接するまで、座面を押し込む。

- ① コネクター調節レバーを引きながら、ジュニアシート背面が車両背もたれに接するまで左右片側ずつ座面を強く押し込む。強く押し込んだまま調節レバーをはなし、「カチッ」と音がするまでさらに押し込む。
左右均等に車両背もたれに接するように調節する。
- ② 手をはなし、インジケーター A がロック状態(「赤色」の表示が見えない状態)になっていることを確認する。



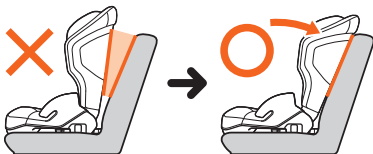
ワンポイント



- 座面を押し込む際は、左右で押し込み量の差が大きにならないよう確認しながら、調節してください。
- 車両によっては、しっかり押し込んででもジュニアシート背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。

車への取り付けかた

4 ジュニアシートと車両背もたれとの間に、すき間がなくなるように調節する。



車両背もたれがリクライニングできない場合は、ジュニアシートの背もたれの角度を調節し、車両座席とのすき間をなくす。

背もたれの使用範囲

- ① 背もたれを水平に倒した状態から起こしていくと1つ目の突起部を乗り越えます。
 - ② さらに起こすと2つ目の突起部を乗り越え、背もたれを自立させることができます。
- 背もたれは、1つ目の突起を乗り越えたところから2つ目の突起を乗り越えたところの間で使用してください。



- 車両背もたれがリクライニングできる場合は、ジュニアシートの背もたれが「背もたれの使用範囲」の角度になるように調節してください。「背もたれの使用範囲」より倒れた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。



- ジュニアシートと車両背もたれのすき間が極端に空いた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

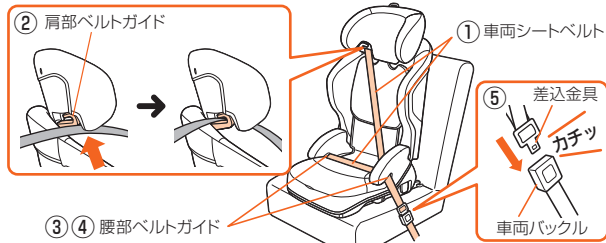
5 車両シートベルトで固定する。

- ① 車両シートベルトを引き出す。
 - ② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
 - ③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
 - ④ 肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
 - ⑤ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。
- ※ ISOFIXキャップが取り付けの妨げになる場合は、ISOFIXキャップをISOFIX取付金具からはずしてください。



注意

急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、お子さまを座らせていないときでもジュニアシートを固定してください。



車への取り付けかた



ISOFIXコネクターを使用することで、車両シートベルトや車両バックルの取り付けの妨げになる場合は、ISOFIXコネクターを使用せず、車両シートベルトだけで取り付けてください。



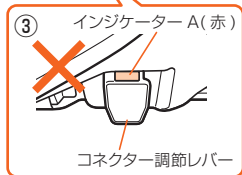
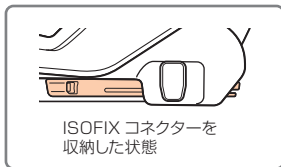
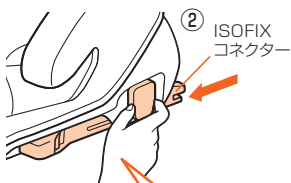
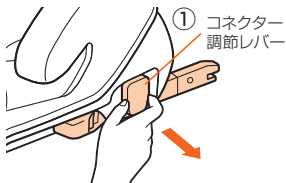
車両バックルや差込金具が製品本体に当たり車両シートベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。



Bでの取り付け方

1 ISOFIX コネクタを収納する。

- ① 側面のコネクタ調節レバーを引きながら、
 - ② ISOFIX コネクタを止まるまで収納する。
 - ③ コネクタ調節レバーから手をはなし、インジケータ A がロック状態（「赤色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。
- ※ 左右それぞれ作業を行ってください。



2 車両シートベルトで固定する。

(26 ページ 5 の手順「車両シートベルトで固定する」参照)

- ※ ISOFIX キャップが取り付けの妨げになる場合は、ISOFIX キャップを ISOFIX 取付金具からはずしてください。

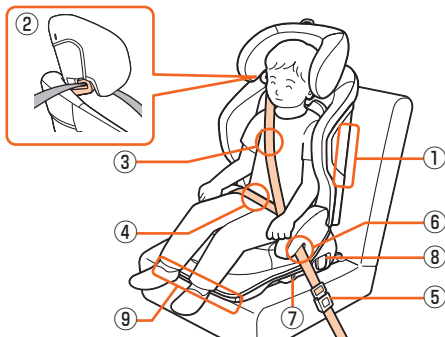
取り付け完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

車両への取り付け方法 A は①～⑨を確認

車両への取り付け方法 B は①～⑥を確認

- ① 車両座席の背もたれとジュニアシートの間に大きなすき間がないこと。
- ② 車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ③ 車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ねじれやたるみがないこと。
- ④ 車両シートベルトがお子さまの骨盤を押さえていること。
- ⑤ 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑥ 車両シートベルトが左右の腰部ベルトガイドを通っていること。
- ⑦ コネクター解除ボタンのインジケーター B が「緑色」になっていること。
- ⑧ コネクター調節レバーのインジケーター A の「赤色」が見えなくなっていること。
- ⑨ 本体左右が車両座席と平行になっていること。(ISOFIX コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。)

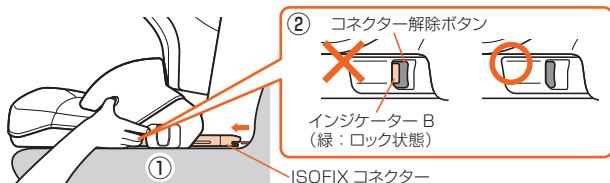




- **車両座席のひじかけなどに隠れてインジケーターが目視で確認できない場合**
ISOFIX 取付金具へISOFIXコネクターを差し込み、左右のISOFIXコネクターが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。その後、「取り付け完了チェックのしかた」①⑨の完了チェックを行ってください。
- **車両座席の形状によってコネクター調節レバーの操作ができない場合**
ISOFIXコネクターの長さを車両背もたれに接するよう調節した上で、ISOFIX取付金具へISOFIXコネクターを差し込み、左右のISOFIXコネクターが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。その後、「取り付け完了チェックのしかた」①⑨の完了チェックを行ってください。

車からの取りはずしかた

- ① 左右のコネクター解除ボタンを2本の指で押して、ISOFIX取付金具からISOFIXコネクターをはずす。
- ② インジケーターBがロック解除状態(「緑色」の表示が見えない状態)になっていることを確認する。



ワンポイント



ISOFIX コネクターの解除が固いときは

ISOFIXコネクターがきちんと取り付けられていると、車両座席の反発力により、ISOFIXコネクターの解除が固くなる場合があります。固い場合は、以下の方法で片側ずつ車両座席からの反発を押し戻し、解除を行ってください。

- ① 座面を車両背もたれに押し込みながらコネクター調節レバーを引き、ISOFIXコネクターを伸ばす。
- ② コネクター解除ボタンを押す。



ヘッドガード位置の調節のしかた

お子さまの成長にあわせ、ヘッドガードの位置を変えて使用します。
ヘッドガードの位置は、11段階に調節することができます。

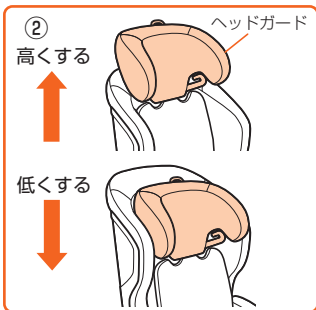
- ① ヘッドガード調節レバーを引きながら、高さを調節する。
- ② 適切な位置でヘッドガード調節レバーから手を離す。
- ③ ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。



ワンポイント



調節の際はヘッドガード調節レバーを確実に引き上げたまま行ってください。



使
い
か
た

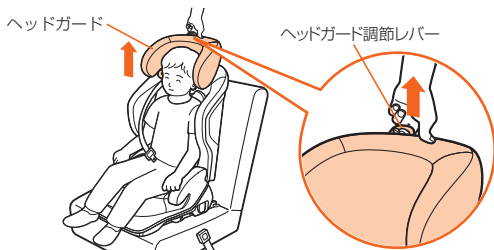


注意

ヘッドガード位置を調節時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。
また、同乗者の手元にも十分にご注意ください。
手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。

お子さまの座らせかた

- 1 差込金具を車両バックルからいったんはずし、お子さまを深く座らせ、ヘッドガードの高さをお子さまにあわせて調節します。
(32ページ「ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)



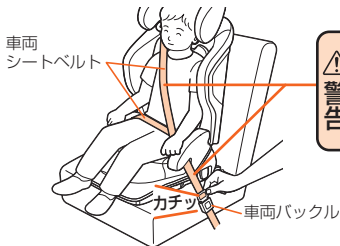
ヘッドガード(肩部ベルトガイド)の高さの目安

肩部ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。



肩部ベルトガイドは、車両シートベルト(肩部)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩部ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドガードの高さを調節し直してください。

- 2**
- ① 車両シートベルトを引き出す。
 - ② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
 - ③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
 - ④ 肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
 - ⑤ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



- 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- 車両シートベルト(腰部)は必ずお子さまの骨盤を押さえるようにすること。

使いかた

- 3** 車両シートベルトがたるんでいる場合は、車両シートベルト(肩部)を上へ引いて張り具合を調節する。



お子さまの座らせかた

警告

- 本製品は、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車両座席からすれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せおろしをしてください。
- お子さまを下図のように座らせると、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。

- のけぞる、前かがみになる。



- お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。



- 中腰・正座・立てひざなどをする。



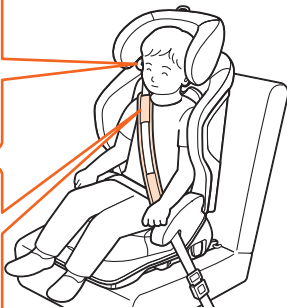
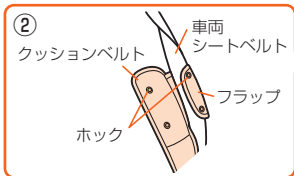
- お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



クッションベルトの使いかた

お子さまに車両シートベルトが直接当たらないように、付属のクッションベルトを使用することができます。なお、34ページのイラストのように、クッションベルトは使用せず、車両シートベルトで直接拘束することもできます。

- ① クッションベルトの先端のループを肩部ベルトガイドに掛けます。
- ② 車両シートベルトにクッションベルトを巻き付けて、上下各2箇所のホックで固定する。その際、下図のように、クッションベルトのフラップが車両シートベルトの上にくるようにホックで留めます。
- ③ 33ページ「お子さまの座らせかた」とおり、お子さまを座らせて、車両シートベルトを締める。

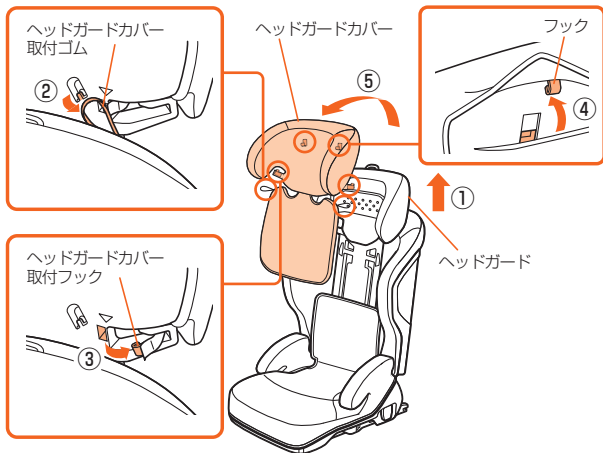


カバーの取りはずしかた・取り付けかた

ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

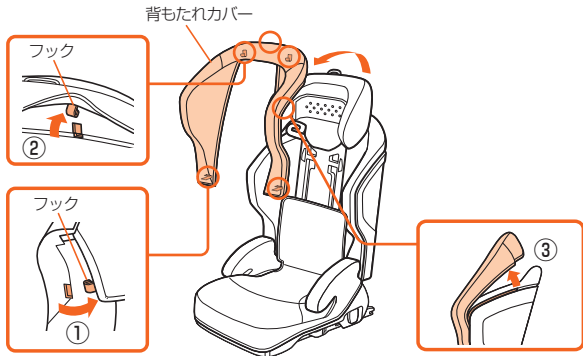
- ① ヘッドガードを最上段まで引き上げる。
(32ページ「ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)
- ② ヘッドガード背面のヘッドガードカバー取付ゴム(左右各1カ所)をははずす。
- ③ ヘッドガード背面のヘッドガードカバー取付フック(左右各1カ所)をははずす。
※三角形の矢印が目印です。
- ④ ヘッドガードカバー上部裏のフック(2カ所)をははずす。
- ⑤ ヘッドガードカバーを上から取りはずす。

※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



背もたれカバーの取りはずしと取り付け

- ① 背もたれカバー下部のフック(左右各1カ所)をはずす。
 - ② 背もたれカバー上部のフック2カ所をはずす。
 - ③ 背もたれカバー側面を本体背もたれ側面の溝からはずす。
- ※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



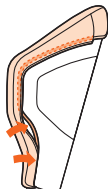
注意

使用する際は、必ず背もたれのカバーを取り付け、本体側面の溝に差し込んでください。

ワンポイント



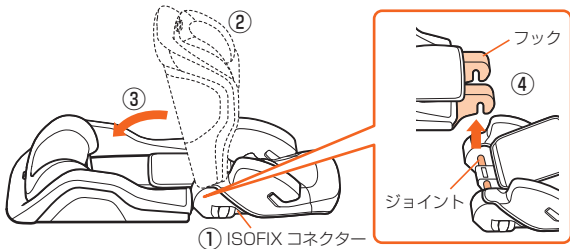
背もたれカバーを取り付けるときは、下の方から順に本体側面の溝に差し込み、最後に全体を整えてください。



カバーの取りはずしかた・取り付けかた

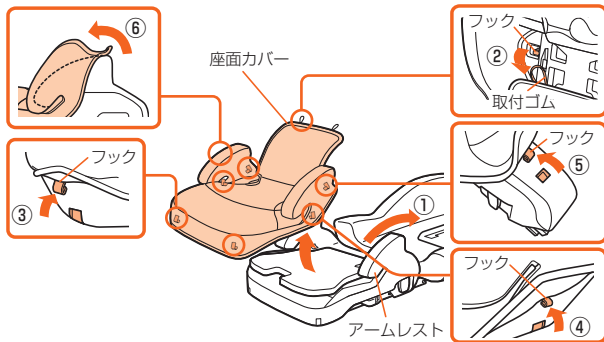
背もたれと座面の外しかた

- ① ISOFIX コネクターを収納する。(28ページ「Bでの取り付け方」参照)
- ② ヘッドガードを一番下まで下げる。
(32ページ「ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)
- ③ 背もたれを座面と水平になるまで倒し、
- ④ 背もたれを持ち上げて背もたれのフックを座面のジョイントからはずす。



座面カバーの取りはずしと取り付け

- ① 背もたれと座面をはずす。(39ページ「背もたれと座面の外しかた」の手順を参照)
 - ② 座面カバー取付ゴムをはずす。
 - ③ 座面カバーの前側のフック2カ所をはずす。
 - ④ 座面カバーの側面のフック(左右各1カ所)をはずす。
 - ⑤ アームレスト後部のフック(左右各1カ所)をはずす。
 - ⑥ アームレスト部分を抜き、座面カバーを取りはずす。
- ※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

- 背もたれカバーに縫製されている洗濯ラベルに従い洗濯してください。
- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 横型洗濯機（洗濯槽が横、または斜めを向いている）をご使用の場合は、水量が少なくなりすぎないように注意してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- アイロン掛けはしないでください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

本体のお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。
- 座面のウレタンクッション材は洗濯できません。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体をいためるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本 体

長期間使用しないときは、車からおろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、座面カバー下の取扱説明書収納部に保管してください。

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後10年」です。

標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書

コンビ ジュニアシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご購入の日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、ご購入の販売店にお問い合わせください。

| | | |
|-----|---------------------------------|-----------------------------------|
| 製品名 | ロットNo. (ヘッドガード背面のシールをご覧ください) | 保証期間 ご購入日より1年間 (ただし保証規定による) |
| お客様 | お名前 | ご購入日 年 月 日 |
| | ご住所 〒 | TEL |
| 販売店 | 店名 | TEL |
| | 住所 | |

修理メモ

保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
- 保証期間内(ご購入日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
- 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷ややぶれ。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (e) 本書に製品名、ご購入日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

- ご購入後、製品名、ご購入日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザ、またはご購入の販売店にお問い合わせください。
- 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。



Combi

コンビ
ジョイトリップ
アドバンス

コンビ株式会社

■ ホームページ

■ オンラインストア(部品購入窓口)

combi.co.jp

combi.co.jp/store

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) /西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ combi.co.jp/soudan